

令和7年度 成長力強化に貢献する質の高い教育

1. 授業科目名

基礎演習 A

2. 連携している地元産業界等の組織名称

青山剛昌ふるさと館

3. 当該授業等を実施する学部・学科

鳥取短期大学 生活学科 情報・経営専攻

4. 当該授業等を開講する目的及び内容

鳥取県北栄町に所在する「青山剛昌ふるさと館」との連携のもと、同館および周辺地域（いわゆるコナン通り）が抱える地域課題を主要な題材として、PBL を実施する。まず、青山剛昌ふるさと館の設立経緯に関する基礎的理解を深める事前学習を行った上で、館長を招聘し、当該施設の現況および運営上の課題等について講話をいただく。その後、青山剛昌ふるさと館館内およびコナン通り周辺においてフィールドワークを実施し、地域資源の実地調査とともに、当該地域が直面する課題の構造的把握に努める。得られた知見をもとに、受講者はグループごとに課題解決に向けた提案を取りまとめ、成果発表会を通じて地域社会への知的貢献を図ることを目的とする。

講義科目名称： 基礎演習 A

ナンバリング： 2-1-1-10

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前 期	1 年次	1 単位	必修
担当教員			
専任教員全員			
授業形態	時間数	開講学科等	科目区分
演習	3 0 時間	生活学科 情報・経営専攻	専門科目
添付ファイル			

授業概要	本専攻における教育目標の「専門性を高め、キャリア形成をはかる」を習得するための基礎力（読解力・傾聴力・表現力）を養い、主体的に調べ、考察する能力を身につける。				
到達目標	・ 2 年間の学習生活に必要な知識・技能・態度が身についている。(②) ・ 読解力・傾聴力・表現力など自らの能力開発の基礎力が身についている。(②) ・ 地域の抱える課題について、主体的に調べ、考察することができる。(③)				
授業計画	回数	授業内容	担当者	事前事後学修	取組時間
	1	イントロダクション—授業概要の説明、SPI試験	情報専任教員	【事前】入学前課題を完了して授業に臨むこと。	1
	2	アサーション研修①	特別講師、情報専任教員	【事後】講演内容の振り返りを行うこと。	1
	3	アサーション研修②	特別講師、情報専任教員	【事後】研修内容の振り返りを行うこと。	1
	4	学内課題についての現状把握・課題整理	情報専任教員	【事後】次回のグループでの課題共有に向けて各自で整理しておくこと	1
	5	学内課題解決の課題共有・解決に向けた手法について①	情報専任教員	【事後】講義内容の振り返りを行うこと。	1
	6	学内課題解決に向けた手法について②	情報専任教員	【事前】講義内容の振り返りを行うこと。	1
	7	学内課題解決の具体的提案を検討（グループワーク）	情報専任教員	【事前】検討内容をグループ内での共有しておくこと。	1
	8	学内課題解決の発表準備	情報専任教員	【事後】発表準備をしておくこと。	1
	9	学内課題解決についてのグループ発表	情報専任教員	【事前】発表準備をしておくこと。	1
	10	青山剛昌ふるさと館についての事前説明・講演・フィールドワーク準備(授業+グループワーク（疑問点・質問事項の整理・作成・提出）)	情報専任教員	【事後】フィールドワークに向けて質問事項等の振り返りを行うこと。	1
	11	青山剛昌ふるさと館運営についての講演	特別講師、情報専任教員	【事後】フィールドワークに向けて講演内容の振り返りを行うこと。	1
	12	青山剛昌ふるさと館のフィールドワーク	情報専任教員	【事後】グループワークに向けてフィールドワークの振り返りを行うこと。	1
	13	青山剛昌ふるさと館の問題整理・改善提案（グループワーク）	情報専任教員	【事前】グループワークに向けてフィールドワークの振り返りを行うこと。	1
	14	青山剛昌ふるさと館の改善提案・発表準備（グループワーク）	情報専任教員	【事前】整理した課題についての改善案を検討しておくこと。	1
	15	青山剛昌ふるさと館についてのグループ発表	情報専任教員	【事前】各グループで発表準備を行っておくこと。	1
教材・テキスト （書籍名/版/著者/出版社）、プリントなど	適宜配布				
参考文献など	適宜配布				
評価方法	レポート①および② 4 0 %、授業態度 3 0 %、発表 3 0 %				
課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法	レポートについては添削後、返却します。				
資格選択区分	ビジネス実務士選択				
教職科目の位置づけ					

実務経験のある教員による授業科目の配置	
科目等履修生ほか受入の可・否（受入可能人数）	不可
備考	